

放課後の 生活時間調査

子どもたちの24時間

子どもたちは、
1日のうち何時に
どのような活動を
しているのだろうか。

- 学年ごとに放課後の時間はどう違うのか？
- いつどのくらいの時間を遊び・勉強・メディアに使っているのか？
- 習い事・部活動・受験はほかの活動にどのように影響するのか？

Benesse教育研究開発センターでは、2008年11月に、全国の小学5年生から高校2年生までを対象にした生活時間調査を実施しました。このダイジェスト版では、平日の時間配分の実態について、特徴的なデータを取り上げてご紹介します。

調査概要

■調査テーマ

小学生・中学生・高校生の生活時間の実態と意識に関する調査

■調査方法

郵送法による自記式質問紙調査

■調査時期

2008年11月10日(月)～14日(金)

■調査対象

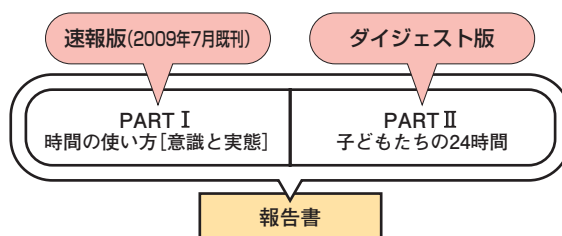
全国の小学5年生～高校2年生 合計8,017名

	小学生		中学生			高校生		合計
	小5生	小6生	中1生	中2生	中3生	高1生	高2生	
配布数(名)	3,672	3,675	3,672	3,674	3,674	3,674	3,675	25,716
有効回収数(名)	1,339	1,264	1,243	1,183	1,166	948	874	8,017
	2,603		3,592			1,822		
有効回収率(%)	35.4		32.6			24.8		31.2

※調査対象者は、全国の小学5年生～高校2年生のリストに基づいて無作為に抽出した。

■調査の枠組み

本調査は、アンケート形式の設定に回答してもらう部分(PART I)と平日24時間に行ったことを15分単位で記入してもらう部分(PART II)から構成されている。このうちPART IIの結果を本ダイジェスト版にまとめた。



■調査項目

[子どもたちの
24時間]

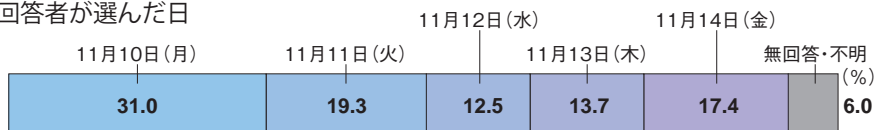
ある1日(24時間)の生活

[記入方法]

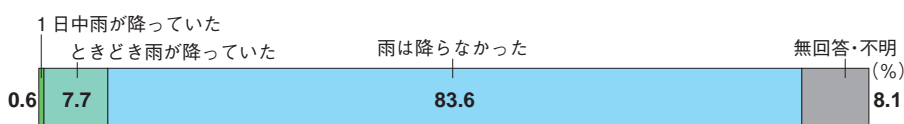
- ①11月10日～14日のうち1日を選んで、その日の午前4時から翌日の午前4時までに行ったことを15分単位で回答する。
- ②回答の際には、あらかじめ指定した行動分類(p.4参照)から行動を選んで記入する。
- ③2つ以上の行動を同時に行っていた場合は「おもにしたと思うもの」を1つを選んで記入する。

■調査日

・回答者が選んだ日



・選んだ日の天気



回答者の 基本属性

目次



p. 4

1. 24時間の生活



p. 12

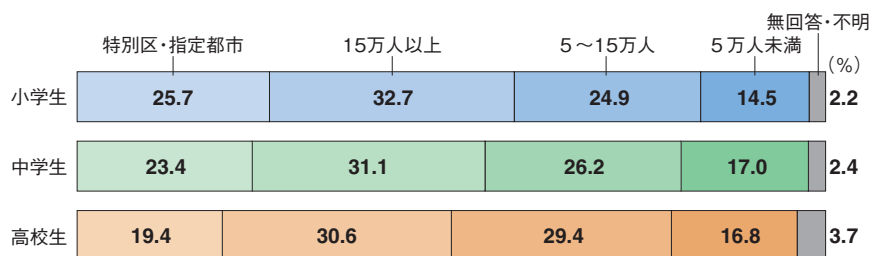
2. 放課後の生活時間



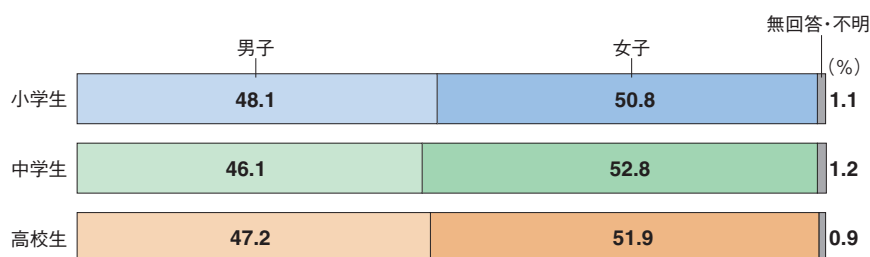
p. 18

3. 小・中・高校生の 特徴的な生活時間

居住地域（人口規模別）



性別



■分析に あたって

- 本文中では、小学5年生を小5生、小学6年生を小6生、両者を合わせて「小学生」と表記している。中学生、高校生も同様に、中1生、中2生、中3生を合わせて「中学生」、高1生、高2生を合わせて「高校生」と表記している。ただし、中3生の生活の特徴を示すために、中学生を中1生、中2生を合わせた「中1・2生」と「中3生」に分けて分析した場合がある。
- 郵送法による調査であるため、調査対象には、小学校、中学校、高等学校に在学していない子どもがわずかに含まれている可能性があるが、合わせて小学生、中学生、高校生として分析している。
- 本文中の「人口規模」は、回答者が居住する市区町村の人口規模を指し、回答者が回答した都道府県・郡市区・町村名により人口を特定・算出している（総務省統計局編『統計でみる市区町村のすがた2008』(財)日本統計協会、2008年の人口データを使用)。なお、区分は以下のように設定した。
 - 「特別区・指定都市」：特別区（東京23区）および2008年11月現在の政令指定都市17市（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）
 - 「15万人以上」：特別区・指定都市を除いた人口15万人以上の市町村
 - 「5～15万人」：人口5万人以上15万人未満の市町村
 - 「5万人未満」：人口5万人未満の市町村
- 本文中の「時刻別行為者率」は、時刻ごとに、該当の行動を行った回答者が全体に占める比率を示したものである。また時刻別行為者率の図は、項目ごとの行為者率を積み上げて示したものである。
- 15分単位で行動を調査したため、「4時00分～4時15分」の行動を本文中では「4時」の行動と示している。同様に、時刻別行為者率の図では「4時00分～4時15分」の比率を「4時」の比率として示している。
- 本文中で行動を示す際には、行動分類（p.4 参照）を用いている。

■留意点

15分単位で「おもにしたと思うもの」を選んでもらっているため、15分より短い時間で完了する行動や他と同時に進行される行動（いわゆる「ながら行動」）は短めに表れる傾向にある。

1. 24時間の生活

① 行動別の生活時間

学校段階や学年により時間の使い方が異なる

学校段階が上がるにつれて24時間の使い方は変化する。中学生は部活動に1時間を費やし、高校生は部活動を1時間30分行うとともにアルバイトにも12分を費やす。

表1-1 行動別の生活時間(学校段階別・24時間あたり・平均時間)

行動分類		小学生	中学生	高校生	
生活に必要な時間	睡眠	8時間36分	7時間26分	6時間43分	
	生活	身のまわりのこと	1時間00分	1時間03分	1時間10分
		食事	1時間01分	58分	54分
学校にかかわる時間	移動	通学	40分	47分	1時間25分
		移動(通学以外)	16分	11分	11分
	学校	学校	7時間21分	7時間17分	7時間22分
		放課後に学校ですごす	11分	11分	17分
	部活動	部活動		54分	1時間30分
放課後の時間	遊び	屋外での遊び・スポーツ	14分	5分	2分
		室内での遊び	13分	5分	4分
		テレビゲーム	17分	14分	11分
	勉強	学校の宿題	36分	33分	33分
		宿題以外の勉強	21分	53分	29分
		学習塾	24分	40分	11分
	習い事	習い事・スポーツクラブ	30分	9分	3分
		習い事の練習	4分	2分	1分
	メディア	テレビ・DVD	1時間04分	59分	57分
		本・新聞	5分	4分	4分
マンガ・雑誌		7分	8分	7分	
音楽		2分	6分	7分	
携帯電話		1分	8分	20分	
パソコン		4分	10分	11分	
人とすごす	家族と話す・すごす	16分	11分	8分	
	友達と話す・すごす	6分	6分	10分	
その他	家の手伝い	4分	4分	4分	
	買い物	2分	2分	4分	
	からだを休める	14分	20分	19分	
	ペットとすごす	2分	2分	2分	
	アルバイト			12分	
	その他	6分	6分	6分	
無回答・不明		4分	5分	4分	

注1 部活動は中・高校生のみになぞねた。アルバイトは高校生のみになぞねた(表1-1・2、以下同)。

注2 学校にかかわる時間には、移動(通学以外)も含めた。

注3 遊び、勉強、習い事、メディア、人とすごす、その他に分類されている行動は、わずかに放課後以外の時間帯にも行われているが、それらも含めて放課後の時間として示した。

1. 24時間の生活

表1-2 行動別の生活時間(学年別・24時間あたり・平均時間)

行動分類	小5生	小6生	中1生	中2生	中3生	高1生	高2生
睡眠	8時間45分	8時間27分	7時間45分	7時間26分	7時間7分	6時間48分	6時間38分
身のまわりのこと	1時間00分	1時間00分	1時間02分	1時間02分	1時間04分	1時間09分	1時間10分
食事	1時間03分	59分	58分	59分	57分	54分	53分
通学	40分	40分	50分	47分	44分	1時間26分	1時間24分
移動(通学以外)	15分	17分	10分	11分	13分	9分	13分
学校	7時間20分	7時間21分	7時間25分	7時間11分	7時間14分	7時間24分	7時間20分
放課後に学校ですごす	10分	13分	9分	9分	15分	16分	18分
部活動			1時間16分	1時間17分	7分	1時間35分	1時間23分
屋外での遊び・スポーツ	14分	14分	3分	5分	6分	2分	2分
室内での遊び	14分	12分	6分	4分	6分	3分	5分
テレビゲーム	15分	18分	13分	15分	13分	9分	14分
学校の宿題	37分	35分	32分	30分	36分	34分	31分
宿題以外の勉強	19分	23分	36分	39分	1時間25分	27分	31分
学習塾	20分	29分	28分	33分	1時間01分	10分	13分
習い事・スポーツクラブ	31分	28分	11分	12分	5分	4分	3分
習い事の練習	5分	4分	2分	2分	2分	1分	1分
テレビ・DVD	1時間01分	1時間07分	57分	1時間04分	58分	58分	55分
本・新聞	5分	5分	4分	5分	5分	5分	4分
マンガ・雑誌	7分	8分	7分	9分	8分	6分	7分
音楽	1分	3分	3分	6分	7分	6分	8分
携帯電話	0分	1分	5分	7分	12分	20分	19分
パソコン	2分	5分	6分	12分	12分	9分	12分
家族と話す・すごす	18分	15分	11分	10分	11分	8分	9分
友だちと話す・すごす	6分	5分	6分	6分	7分	9分	10分
家の手伝い	4分	5分	3分	4分	5分	3分	4分
買い物	2分	2分	2分	2分	3分	4分	4分
からだを休める	13分	15分	17分	19分	24分	19分	20分
ペットとすごす	2分	2分	2分	2分	2分	2分	2分
アルバイト						9分	15分
その他	6分	6分	5分	7分	7分	5分	6分
無回答・不明	4分	4分	5分	5分	5分	4分	5分

注4 睡眠時間の平均は、午前4時から翌日の午前4時までに行われた睡眠の時間から算出したものであり、連続して行われた睡眠ではない。

注5 宿題以外の勉強は、学校ではなく家でする勉強を指す。

注6 平均時間(「全体平均時間」と表記する場合あり)は、24時間のうち該当の行動が行われた時間の平均である。該当の行動を行わなかった子どもも含めた全体を母数として算出した。小数第1位を四捨五入しているため、24時間にならない場合がある。

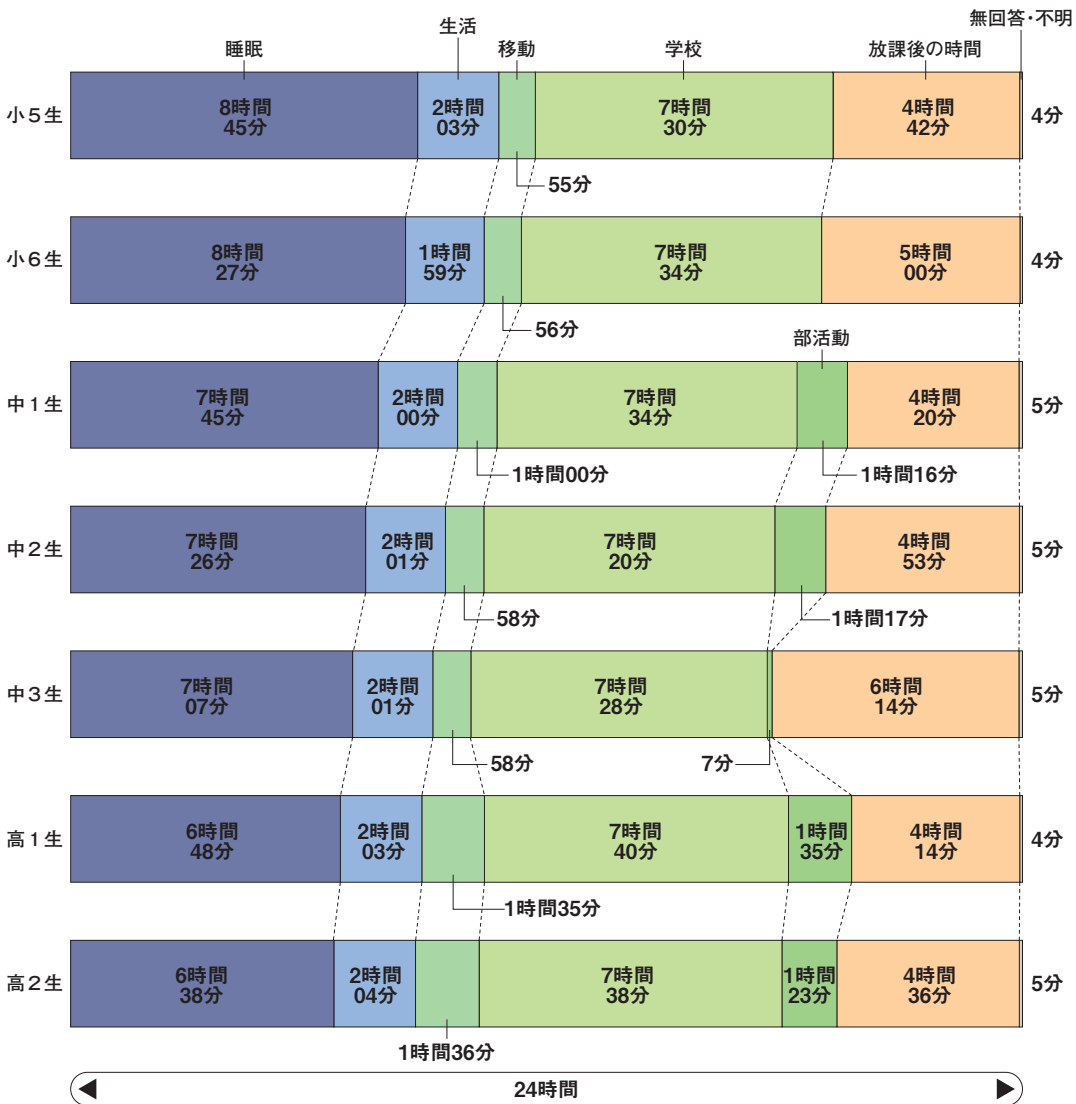
1. 24時間の生活

②— 1日の時間配分

放課後の時間は中3生を除いて4～5時間

睡眠時間は、学年が上がると短くなるが、生活や学校の時間は、学年によらずほぼ一定である。これらの時間と移動や部活動を合わせた時間を24時間から差し引いた放課後の時間（遊び、勉強、習い事、メディア、人とすごす、その他の時間の合計）は、中3生で6時間台であるほかは、どの学年でも4～5時間となっている。

図1-1 1日の時間配分(学年別・平均時間)



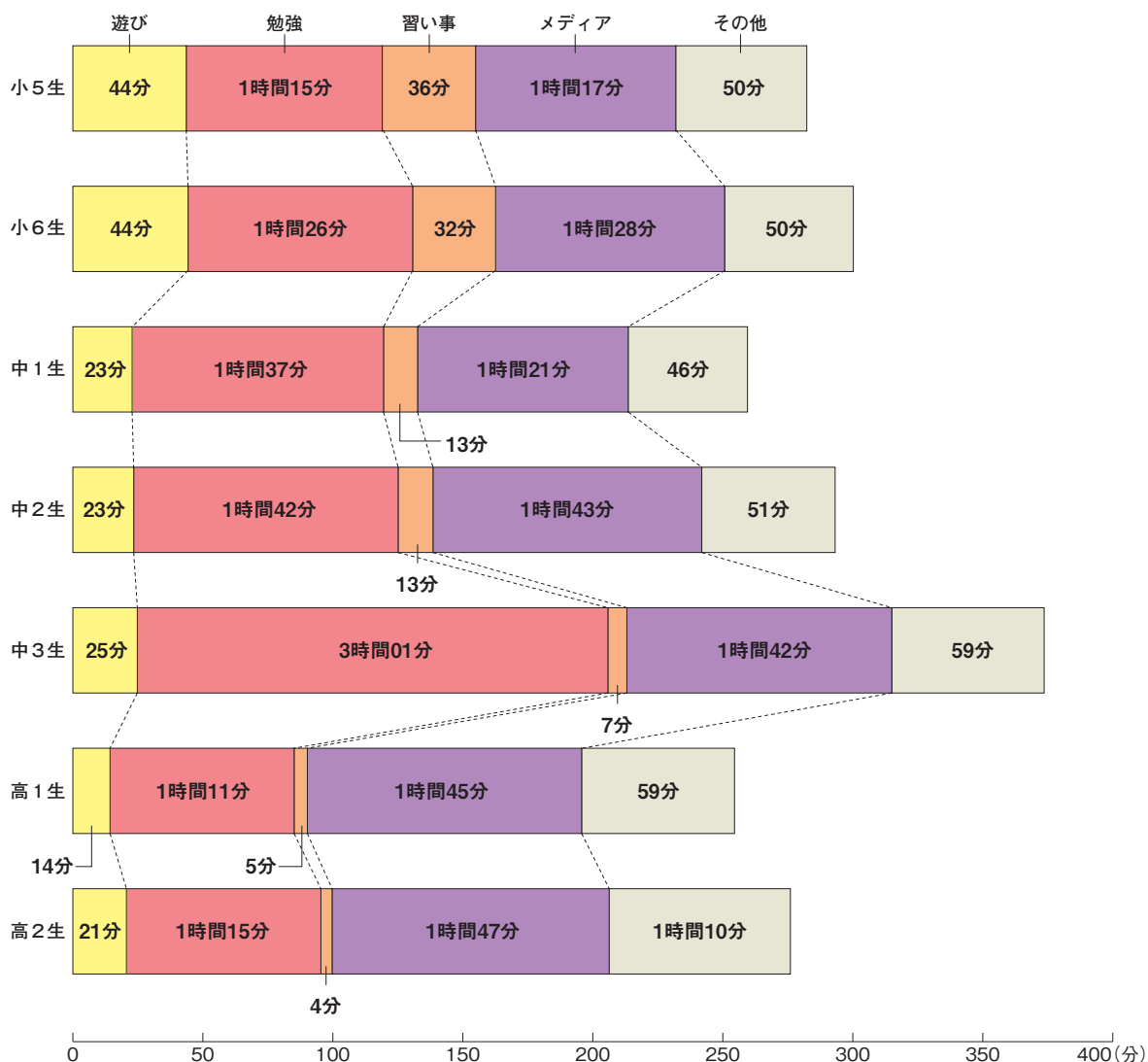
注1 部活動は中・高校生のみならずねた。
 注2 放課後の時間は、遊び、勉強、習い事、メディア、人とすごす、その他の時間の合計。
 注3 遊び、勉強、習い事、メディア、人とすごす、その他に分類されている行動は、わずかに放課後以外の時間帯にも行われているが、それらも含めて放課後の時間として示した。

③ 放課後の時間の使い方

放課後の時間の半分以上は勉強とメディアの時間が占める

いずれの学年も、勉強やメディアの時間が1時間を超えており、放課後の時間の多くを占めている。中3生の勉強の時間がすべての学年でもっとも長く、3時間を超えている。これは、高校受験を控えているためと考えられる。放課後の時間に占める比率は少ないが、習い事の時間は学年が上がるにつれて短くなっている。

図1-2 放課後の時間の使い方(学年別・平均時間)



注1 放課後の時間は、遊び、勉強、習い事、メディア、人とすこず、その他の時間の合計。ただし、人とすこず時間は、その他に含めて示した。

注2 遊び、勉強、習い事、メディア、人とすこず、その他に分類されている行動は、わずかに放課後以外の時間帯にも行われているが、それらも含めて放課後の時間として示した。

1. 24時間の生活

④ 夕方17時、夜20時、深夜23時の行動

学校段階によって、各時刻の行動は大きく異なっている

図1-3①~③は、それぞれ17時、20時、23時の3時点において、どれくらいの割合の子どもがどのような行動をしているのかを示したものである。

17時の行動

中1・2生の3割、高校生の5割が部活動をしている一方で、部活動がない小学生、部活動をしていない子どもが多い中3生では、およそ3割が勉強をしている。

20時の行動

中3生では勉強する子どもが5割を超えるが、小学生、中1・2生、高校生では、生活（食事、身のまわりのこと）やメディアの割合が多い。

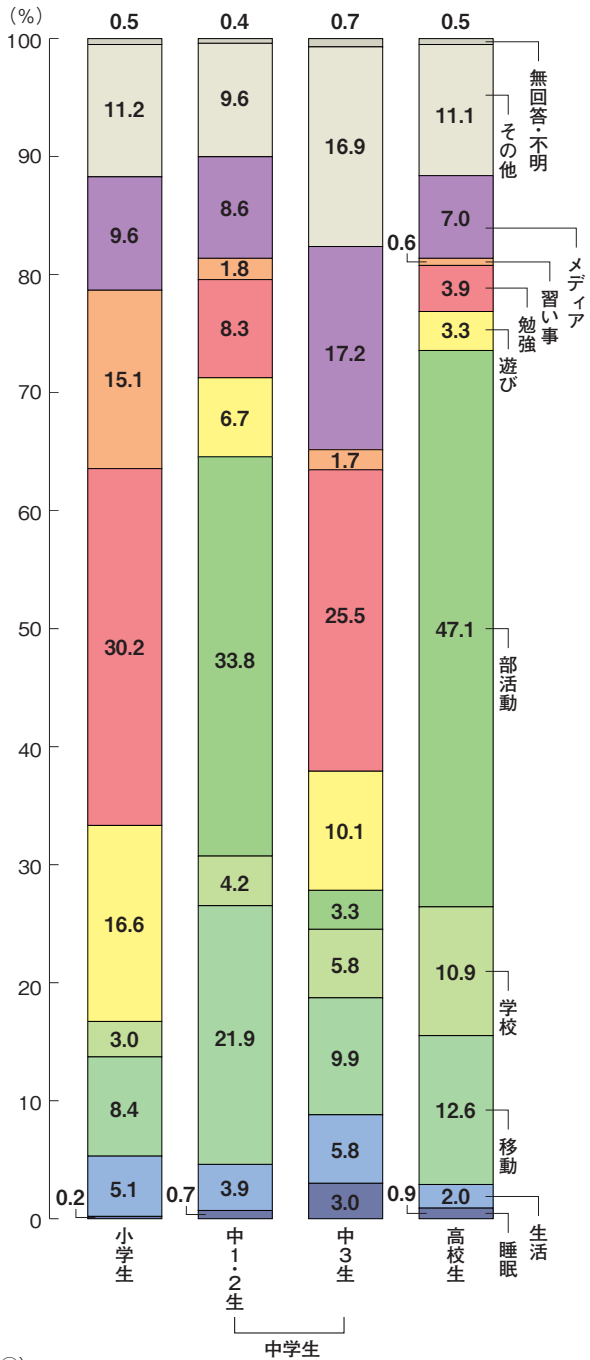
23時の行動

小学生の9割、中1・2生の6割がすでに就寝している。中3生、高校生はそれぞれ3割弱が就寝しているが、勉強やメディアに時間をあてている子どももそれぞれ2割前後いる。



図1-3 時刻別行為者率
(学校段階別・17時、20時、23時)

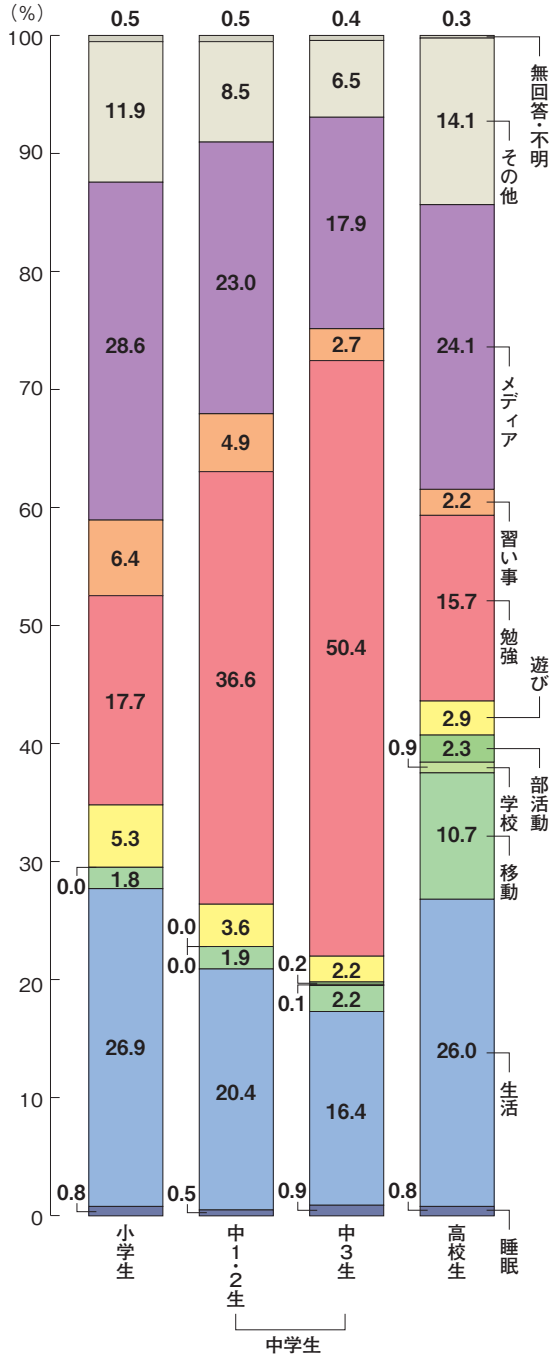
① 夕方17時



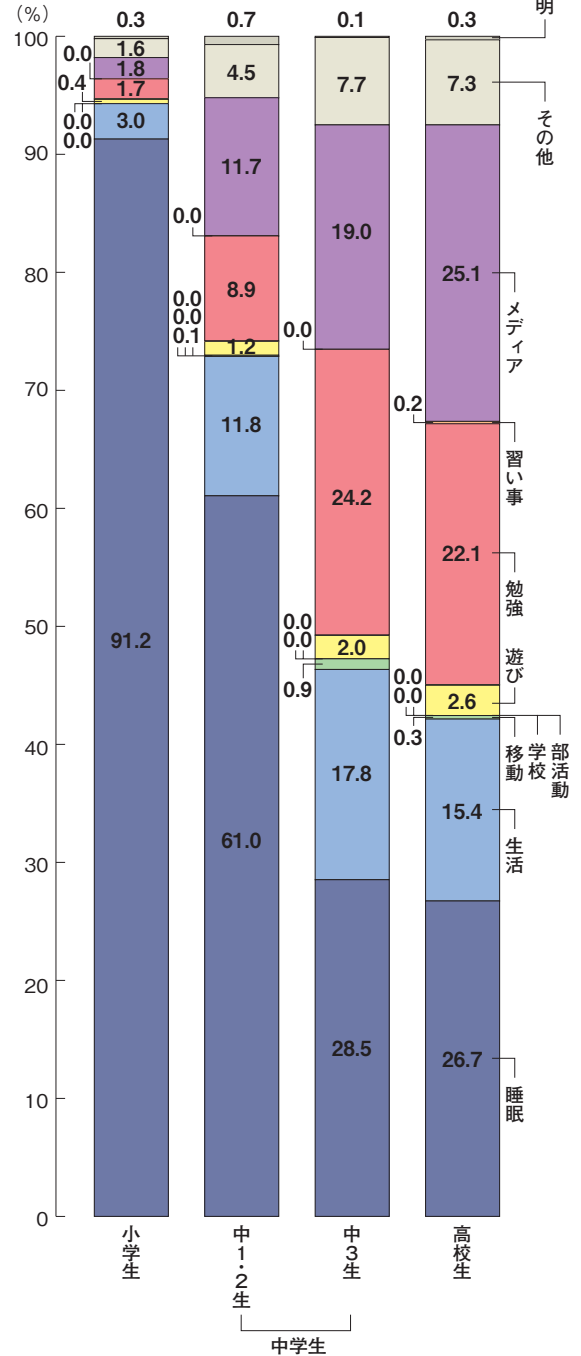
注1 部活動は中・高校生のみにたずねた(図1-3①~③)。
注2 人とすぐす時間は、その他に含めて示した(図1-3①~③)。

1. 24時間の生活

②夜20時



③深夜23時



1. 24時間の生活

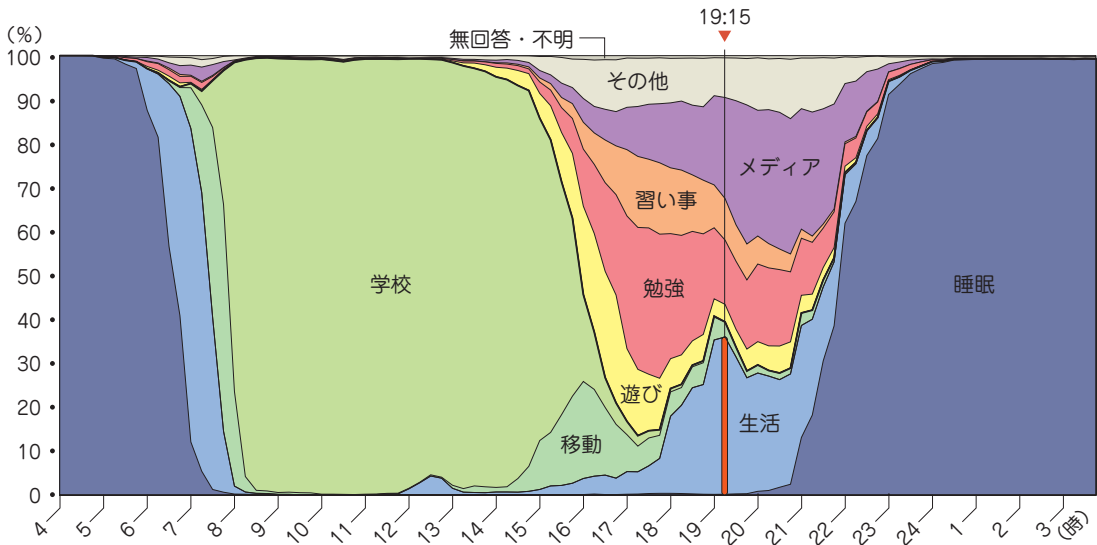
5—24時間の過ごし方

部活動がない小学生と中3生は、夕食前にさまざまな活動を行っている

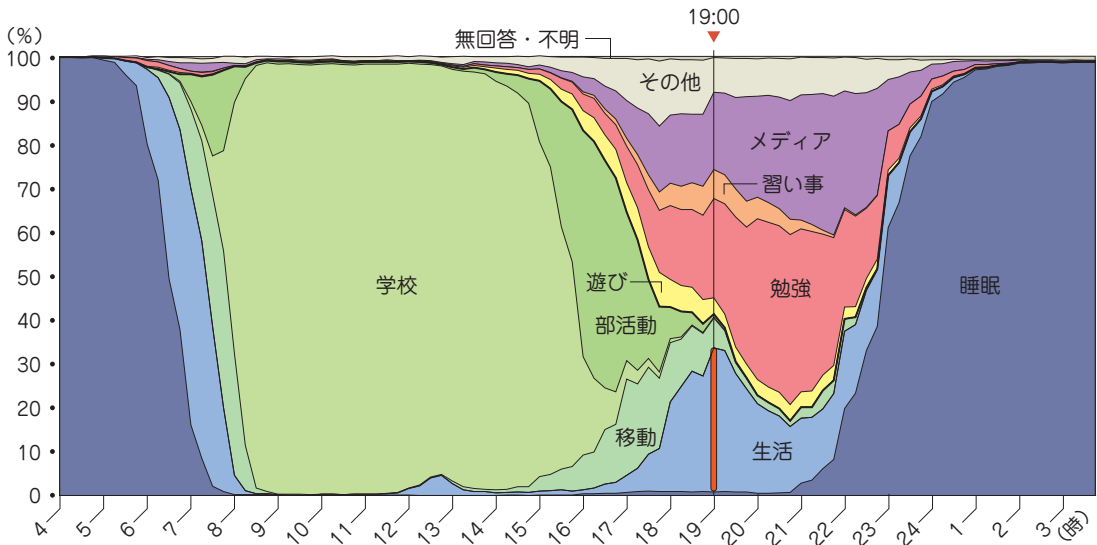
図1-4①~④は、朝4時から翌朝4時までの各時刻において、どれくらいの割合の子どもがどんな行動をしているのかを示したものである。ここから、学校段階によらず19時頃に生活の時間のピークがあることがわかる。その内訳をみると、食事という回答が多くみられることから、多くの子どもが夕食をとっていることがうかがえる。

図1-4 時刻別行為者率(学校段階別)

①小学生

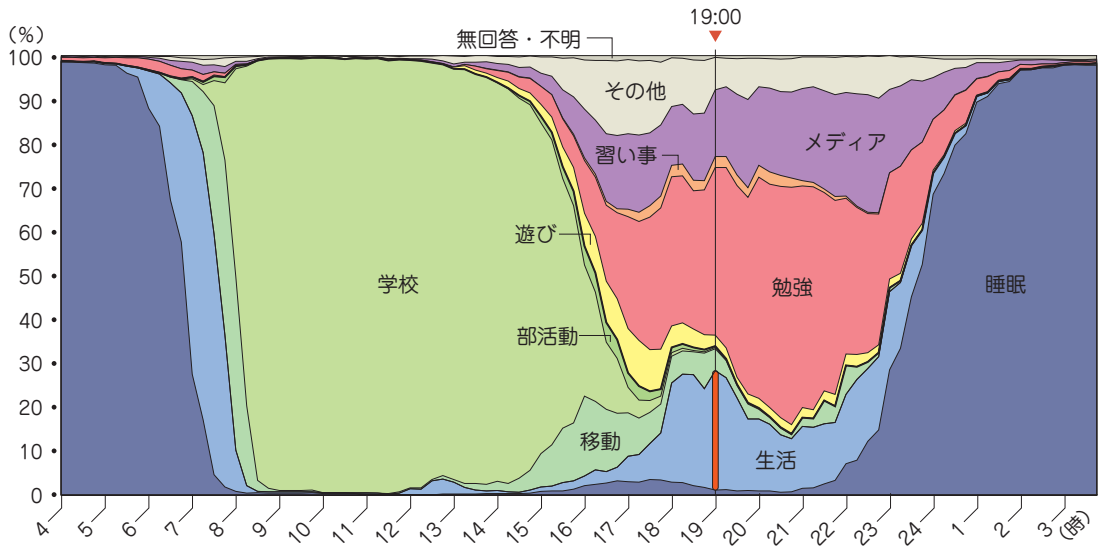


②中学生(中1・2生)

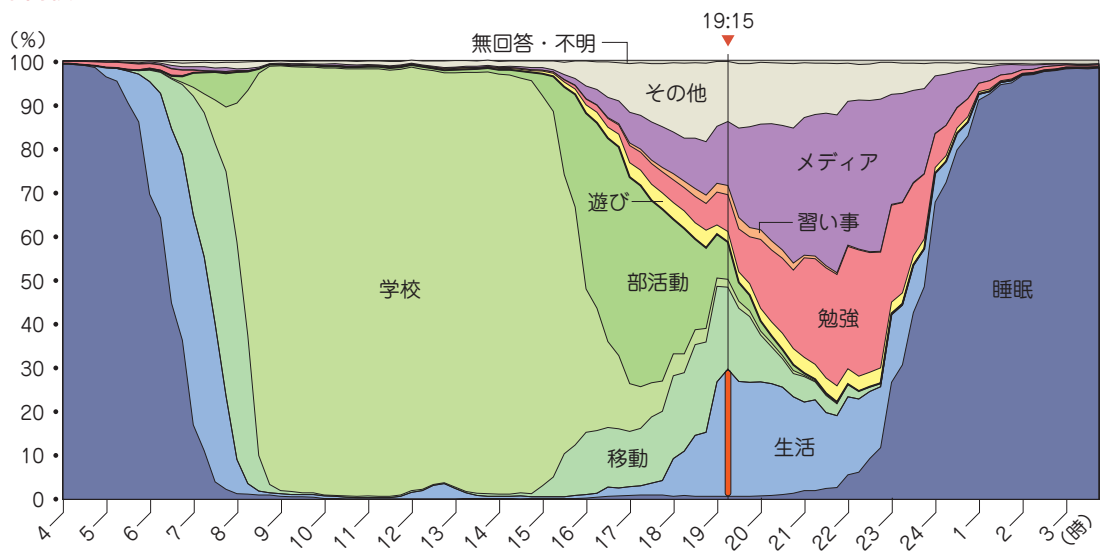


部活動がない小学生、部活動をしている子どもが少ない中3生では、夕食をとっていると思われる19時頃の前にも比較的自由的な時間があり、さまざまな活動を行っている。これに対して、中1・2生と高校生では、夕食前の時間の多くを部活動の時間が占めており、夕食後にさまざまな活動を行うようすがみとれる。

③中学生(中3生)



④高校生



注1 部活動は中・高校生のみならずねた(図1-4②~④)。
 注2 人と過ごす時間は、その他に含めて示した(図1-4①~④、以下同)。
 注3 生活(食事)について、もっとも行為者率が高い時刻を示した。

2. 放課後の生活時間

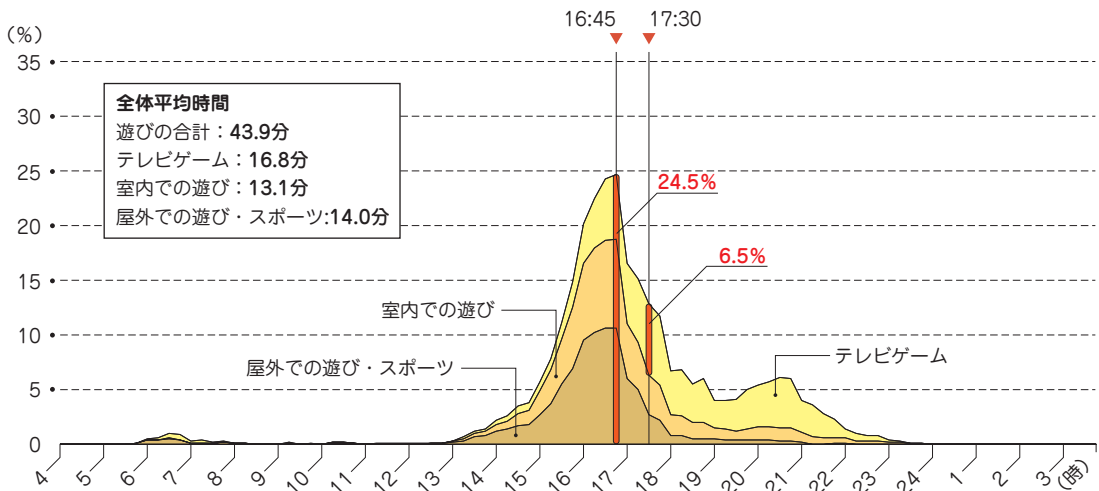
① 遊びの時間

小学生がもっとも遊んでいる時刻は16時45分

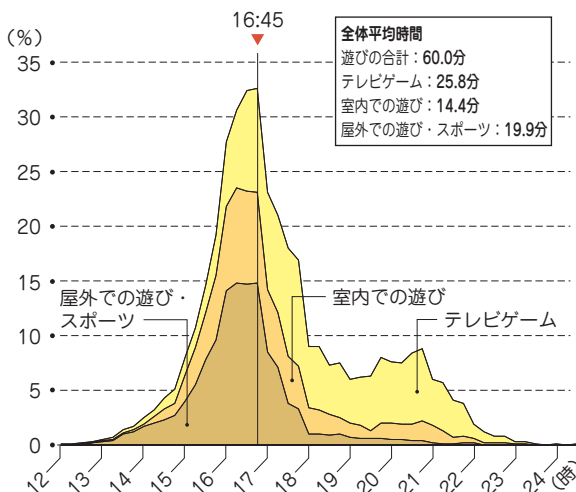
小学生の遊びの平均時間は43.9分であるが、男子の平均時間は女子の2倍である（男子60.0分、女子28.4分）。時刻別にみると、小学生の遊びのピークは16時45分で、4人に1人（24.5%）が遊んでいる。男子はその時刻に3人に1人（32.6%）が遊んでおり、女子に比べて屋外での遊び・スポーツ、テレビゲームの比率が高い。テレビゲームだけで見るとピークは17時30分（6.5%）である。

図2-1 遊びの時刻別行為者率(学校段階別・小学生性別)

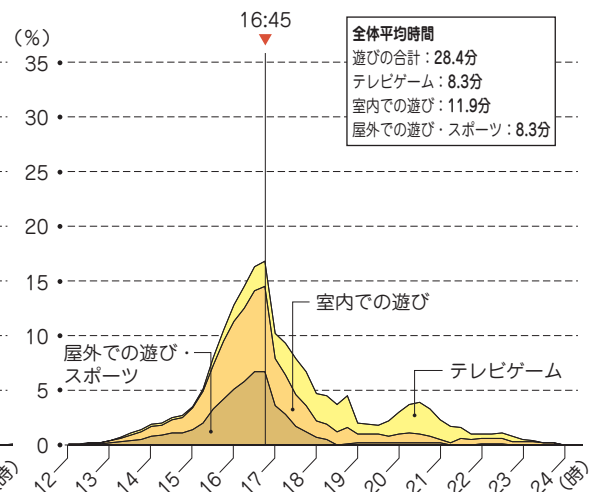
①小学生(全体)



②小学生(男子)



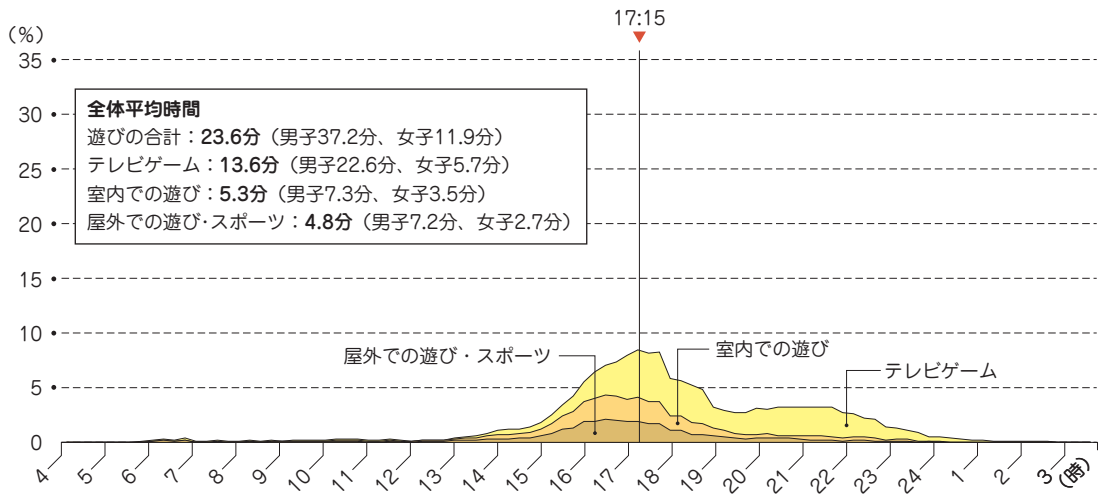
③小学生(女子)



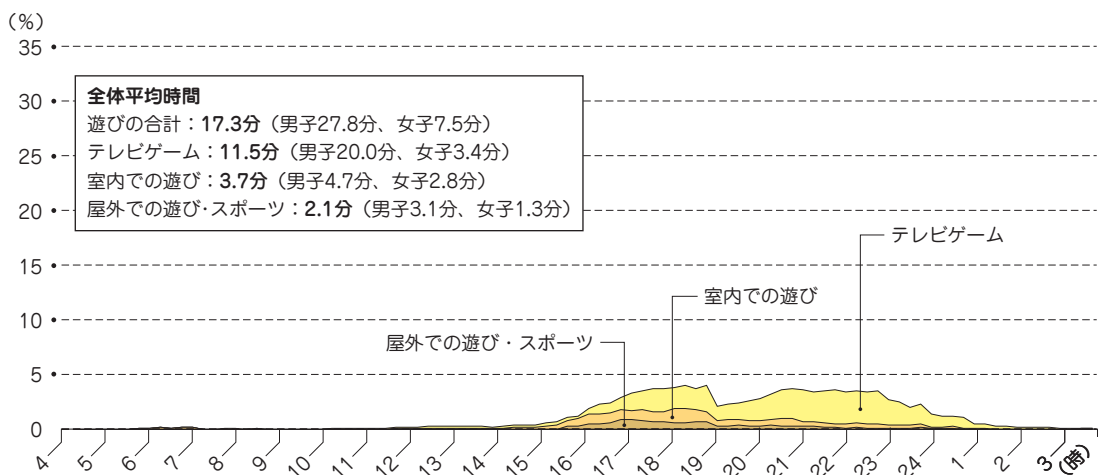
学校段階が上がるにつれて、遊びの時間は短くなる

中学生の遊びの平均時間は23.6分、高校生は17.3分であり、学校段階が上がるにつれて遊びの時間は短くなる。しかし、テレビゲームの時間だけはあまり減少せず、とくに男子は、中・高校生とも20分以上テレビゲームに時間を費やしている。時刻別にみると、中学生がもっとも遊んでいる時刻（17時15分）でも、遊んでいる子どもは1割未満（8.3%）と少ない。

④中学生



⑤高校生



注1 11月中旬の調査結果。遊びの時刻は、季節によって変わる可能性がある。

注2 小・中学生について、遊び全体でもっとも行為者率が高い時刻を示した(図2-1①~④)。また、小学生(全体)については、遊び全体とテレビゲームの行為者率がもっとも高い時刻の行為者率も示した(図2-1①)。

注3 小学生(男子)、小学生(女子)については、4時00分~11時45分、24時00分~3時45分の行為者率を省略した(図2-1②・③)。

2. 放課後の生活時間

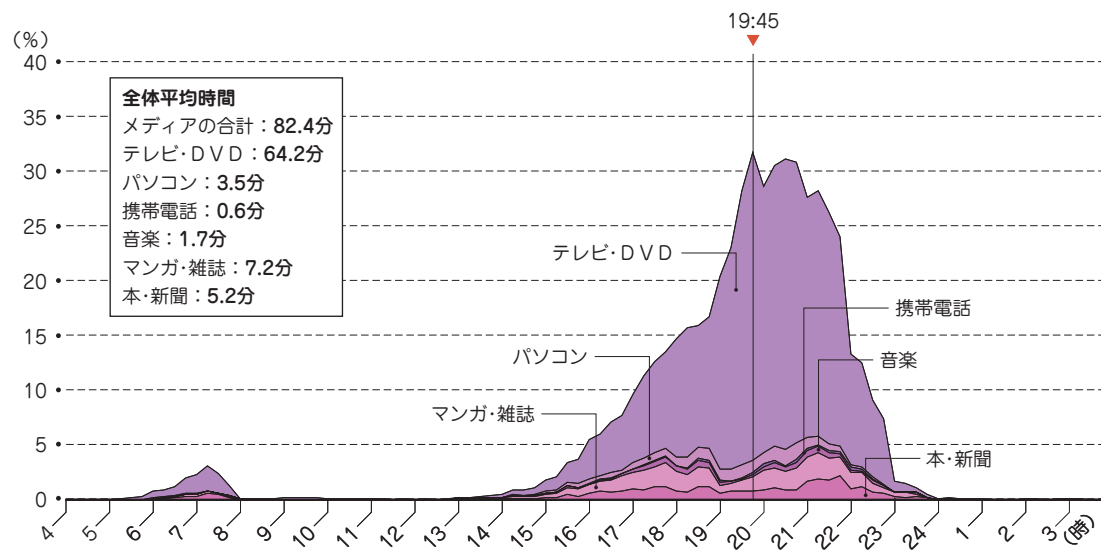
②—メディアの時間

メディア利用のピークは、小学生19時45分、中学生21時45分

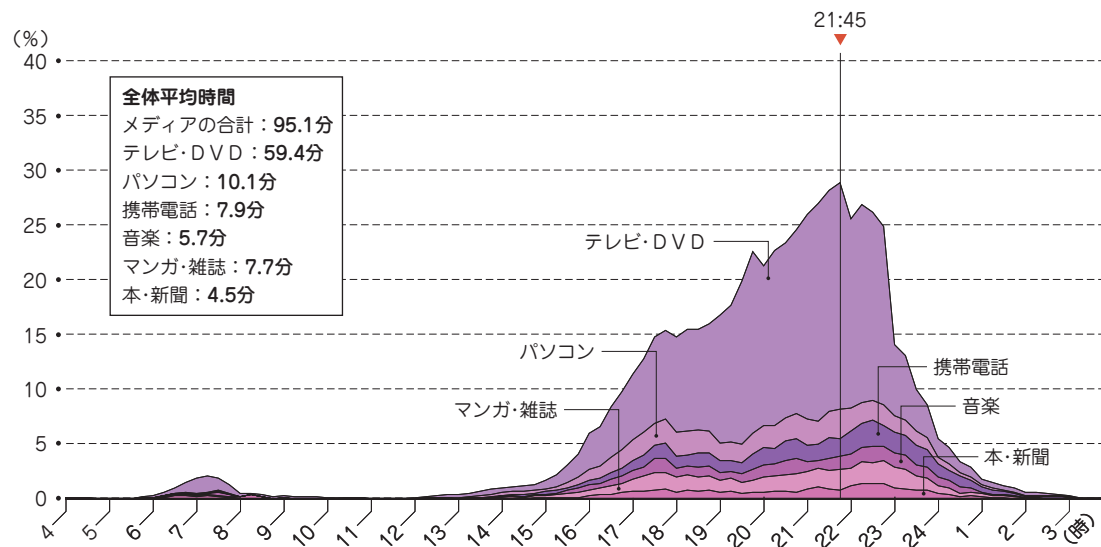
メディア利用の平均時間は、テレビ・DVDがもっとも長く、小学生64.2分、中学生59.4分である。それ以外のメディアの時間はほとんどが5分前後と短い。時刻別にみると、小学生がもっともメディアを利用しているのは19時45分で、その時刻には4人に1人(28.1%)がテレビ・DVDを見ている。また、中学生がもっともメディアを利用しているのは21時45分で、小学生のピークより2時間遅い。

図2-2 メディアの時刻別行為者率(学校段階別・高校生性別)

①小学生



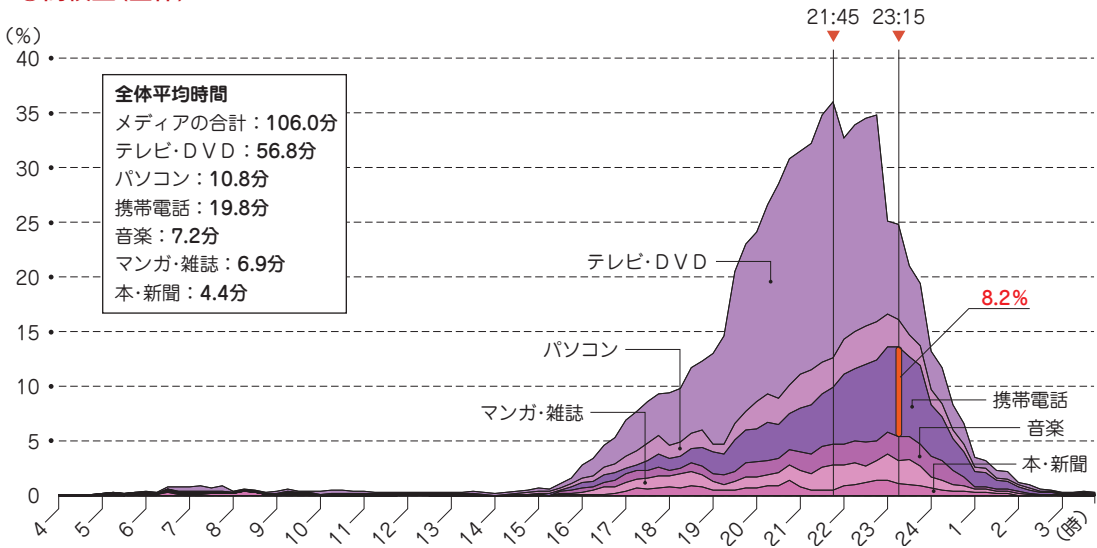
②中学生



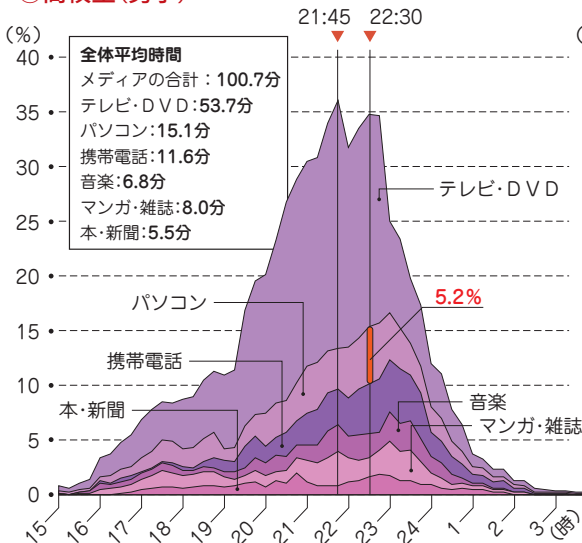
高校生の携帯電話利用のピークは23時15分で、1割弱が専念している

高校生のメディア利用の平均時間は、テレビ・DVDが56.8分でもっとも長く、次いで携帯電話が19.8分である。性別では、男子は女子に比べてパソコンの時間が長く、女子は携帯電話の時間が長い。また、時刻別にみると、高校生がもっともメディアを利用しているのは21時45分であるが、携帯電話だけでみると23時15分(8.2%)がピークとなる。

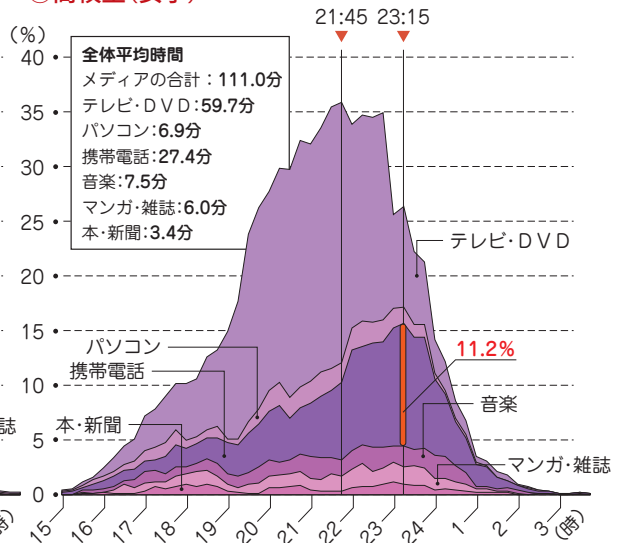
③ 高校生(全体)



④ 高校生(男子)



⑤ 高校生(女子)



注1 メディア全体でもっとも行為者率が高い時刻を示した(図2-2①~⑤)。また、高校生(全体)および高校生(女子)については、携帯電話の行為者率をもっとも高い時刻の行為者率を(図2-2③・⑤)、高校生(男子)については、パソコンの行為者率をもっとも高い時刻の行為者率を示した(図2-2④)。

注2 高校生(男子)、高校生(女子)については、4時00分~14時45分の行為者率を省略した(図2-3④・⑤)。

2. 放課後の生活時間

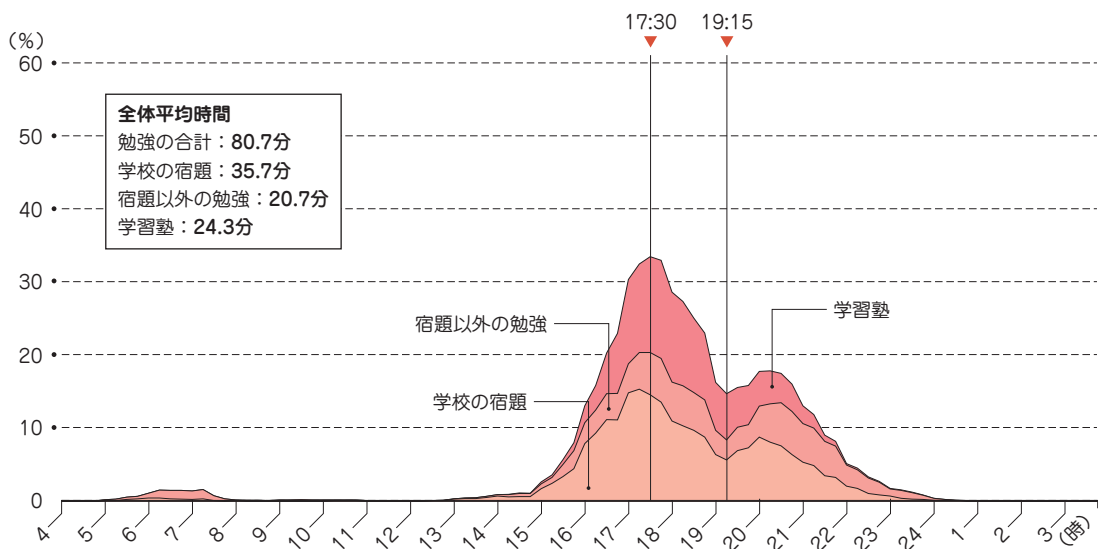
③ 勉強の時間

勉強のピークは小学生17時30分、中学生20時45分、高校生22時15分

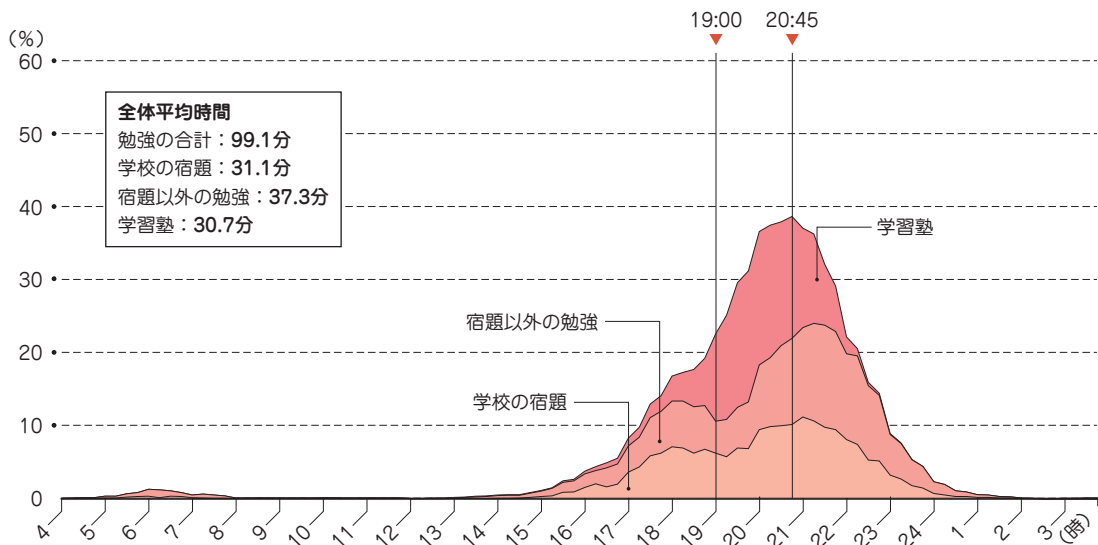
勉強の時間帯は、学校段階によって異なる。小学生は夕食までの17時～19時に勉強を済ませることが多いが、中・高校生では19時以降に勉強にとりかかる傾向がある。また、ピークの時間帯で勉強している割合をみると、中3生は20時～21時15分で5割を超えており、全学年のなかではもっとも高い。一方、高校生はピーク(22時15分)でも行為者率が3割に満たない。

図2-3 勉強の時刻別行為者率(学校段階別)

①小学生



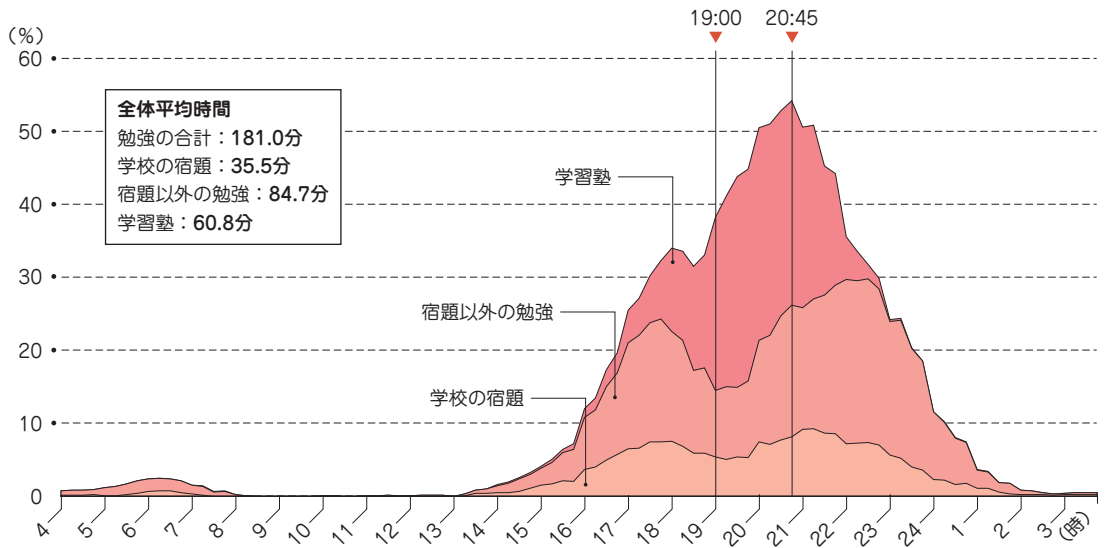
②中学生(中1・2生)



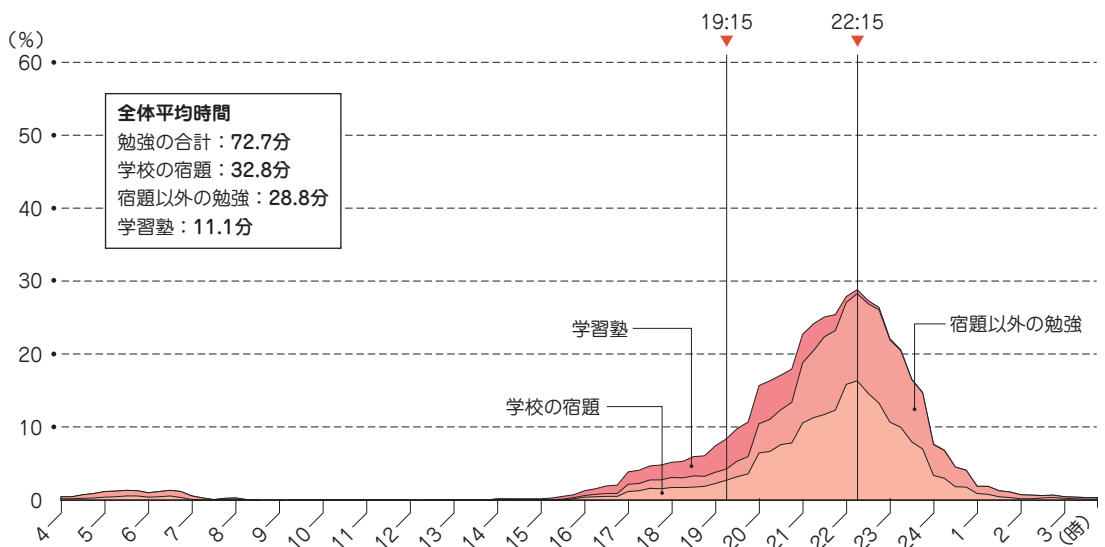
2. 放課後の生活時間

勉強の平均時間をみると、小学生80.7分、中1・2生99.1分、中3生181.0分、高校生は72.7分である。小学生と高校生は、学校の宿題の時間が宿題以外の勉強や学習塾より長く、学校の宿題を中心とした勉強をしている。それに対して、中3生は宿題以外の勉強(84.7分)と学習塾(60.8分)が長い。

③中学生(中3生)



④高校生



注 勉強全体と、生活(食事)について、それぞれもっとも行為者率が高い時刻を示した(図2-3①~④)。

2. 放課後の生活時間

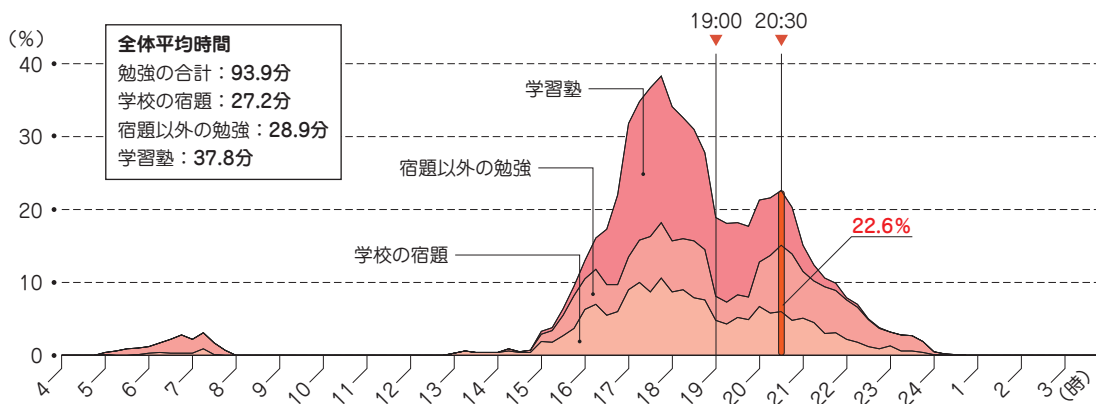
④ 地域と勉強時間

都市部の小学生の2割は20時30分に勉強している

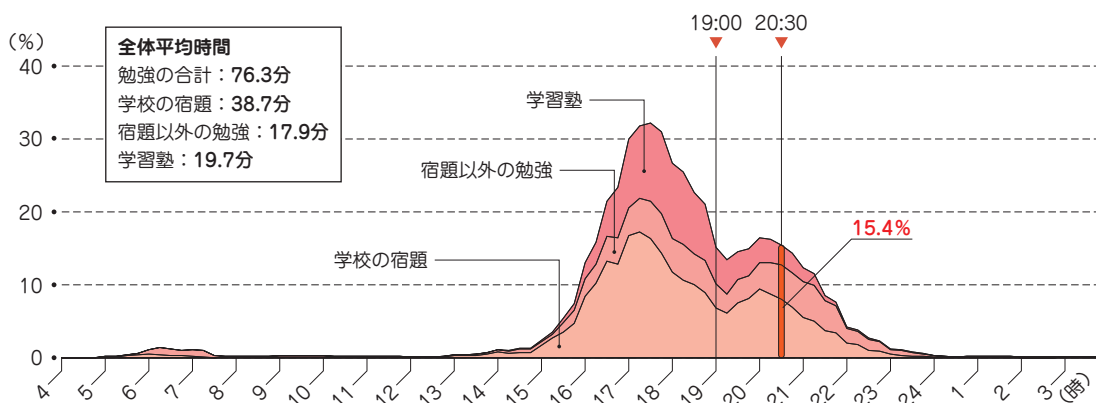
小学生では勉強のピークは19時前であり、人口規模による差はない。ただし、19時以降では、都市部の小学生のほうが勉強している比率が高い。20時30分に勉強している比率は、都市部22.6%であるのに対して、それ以外の地域では15.4%である。また、都市部では学習塾の時間が長く、都市部以外では学校の宿題をする時間が長い。

図2-4 勉強の時刻別行為者率(小学生・地域別)

① 都市部



② 都市部以外



注1 人口規模区分での「特別区・指定都市」を「都市部」とし、「15万人以上」「5～15万人」「5万人未満」を「都市部以外」とした。

注2 生活(食事)について、もっとも行為者率が高い時刻を示した。

注3 勉強全体について、都市部で第2のピークとなる20時30分の行為者率を示した。

3. 小・中・高校生の特徴的な生活時間

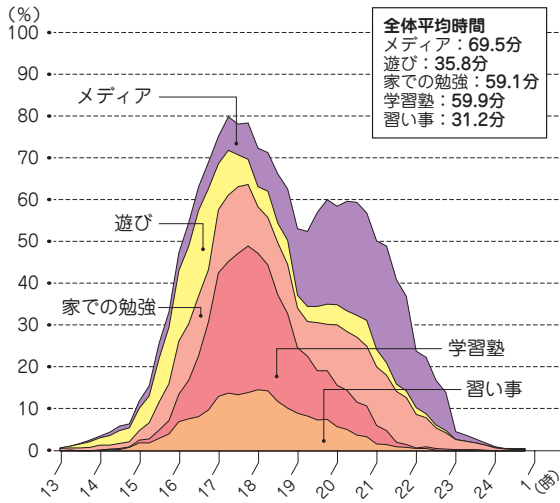
① 小学生：習い事や学習塾と生活時間

学習塾に行っている小学生は、遊びは30分、メディアは1時間

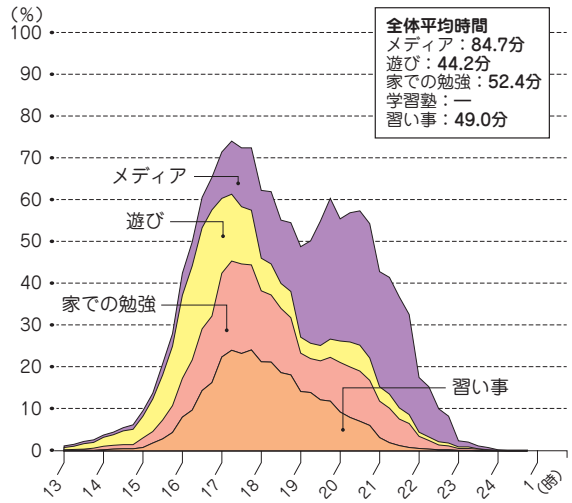
学習塾に行っている小学生は、習い事の有無にかかわらず、遊びやメディアの時間が短い。習い事にも学習塾にも行っていない小学生は遊びやメディアの時間が長く、20時台には4割がメディアに時間を費やしている。

図3-1 勉強・習い事・遊び・メディアの時刻別行為者率(小学生・習い事/学習塾の有無別)

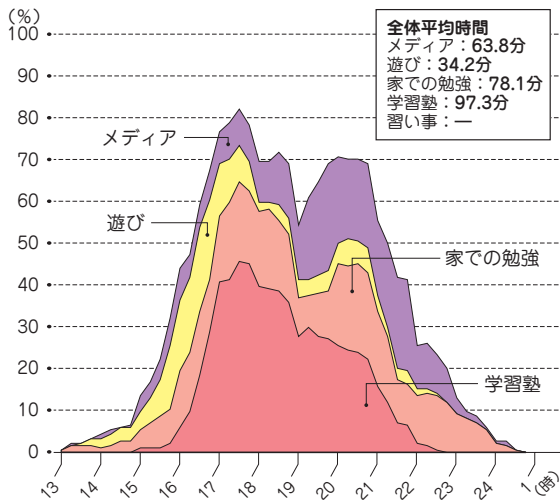
① 習い事あり・学習塾あり



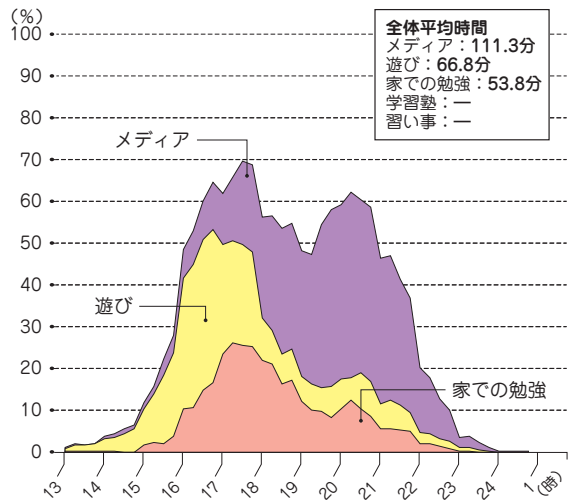
② 習い事あり・学習塾なし



③ 習い事なし・学習塾あり



④ 習い事なし・学習塾なし



注1 「あなたは今、習い事や学校外のクラブに行っていますか」という設問に対し、「行っている」と回答した小学生を「習い事あり」とし、「行っていない」と回答した小学生を「習い事なし」とした。同様に、「あなたは今、学習塾に行っていますか」という設問に対し、「行っている」と回答した小学生を「学習塾あり」とし、「行っていない」と回答した小学生を「学習塾なし」とした。それぞれが全体に占める比率は「習い事あり・学習塾あり」が28.7%、「習い事あり・学習塾なし」が50.2%、「習い事なし・学習塾あり」が7.1%、「習い事なし・学習塾なし」が12.9%。

注2 家での勉強は、学校の宿題、宿題以外の勉強の時間の合計。
 注3 4時00分～12時45分、1時00分～3時45分の行為者率は省略した。

3. 小・中・高校生の特徴的な生活時間

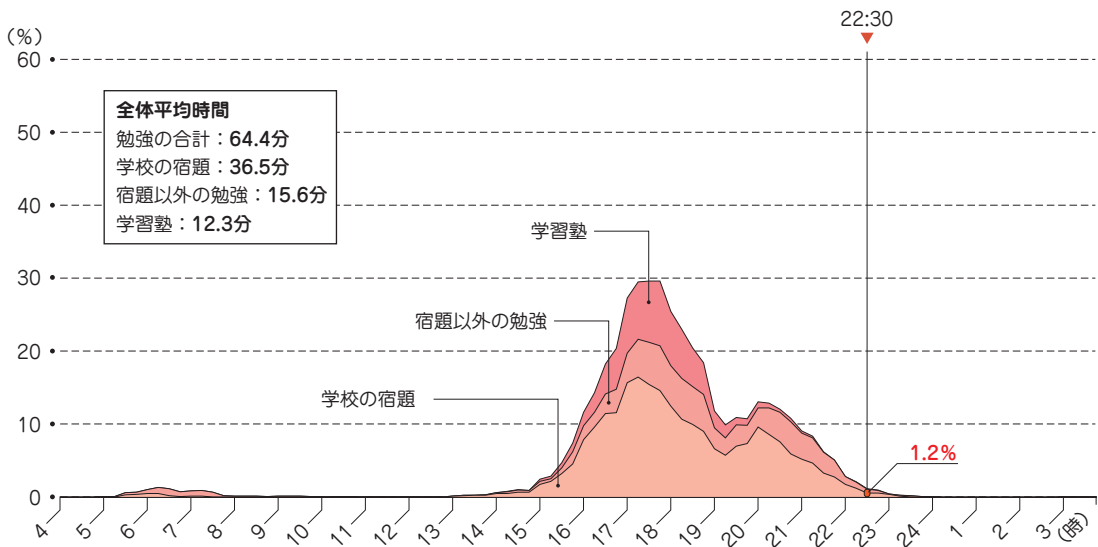
② 小学生：中学受験予定と勉強時間

中学受験を予定している小学生は学習塾での勉強時間が長い

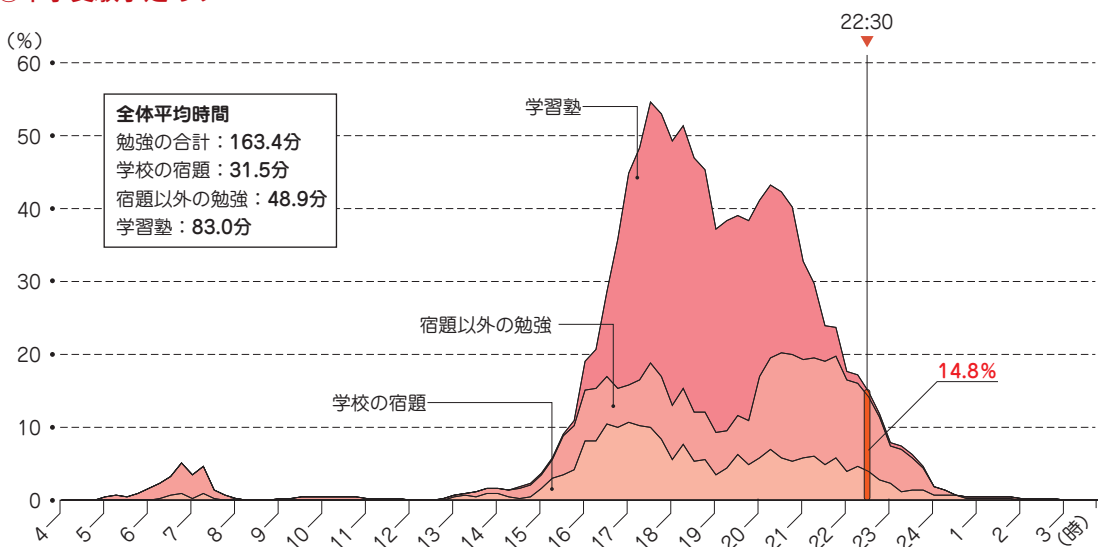
勉強の平均時間を合計すると、中学受験をしない予定の小学生は64.4分、する予定の小学生は163.4分である。とくに中学受験をする予定の小学生は学習塾での勉強時間が長い。さらに、22時30分に勉強している比率は、中学受験をしない予定の小学生がほとんどみられない（1.2%）のに対して、する予定の小学生では14.8%である。中学受験をする予定の小学生は長く、かつ遅くまで勉強していることがわかる。

図3-2 勉強の時刻別行為者率(小学生・中学受験予定別)

① 中学受験予定なし



② 中学受験予定あり



注1 「あなたは、どこかの中学校（私立、国立、公立中高一貫校など）を受験しようと思っていますか」という設問に対し、「はい」と回答した小学生を「中学受験予定あり」（小学生全体の16.6%）とし、「いいえ」と回答した小学生を「中学受験予定なし」（小学生全体の64.8%）とした。「まだ決めていない」と回答した小学生は分析から除いた。

注2 勉強全体について、22時30分の行為者率を示した。

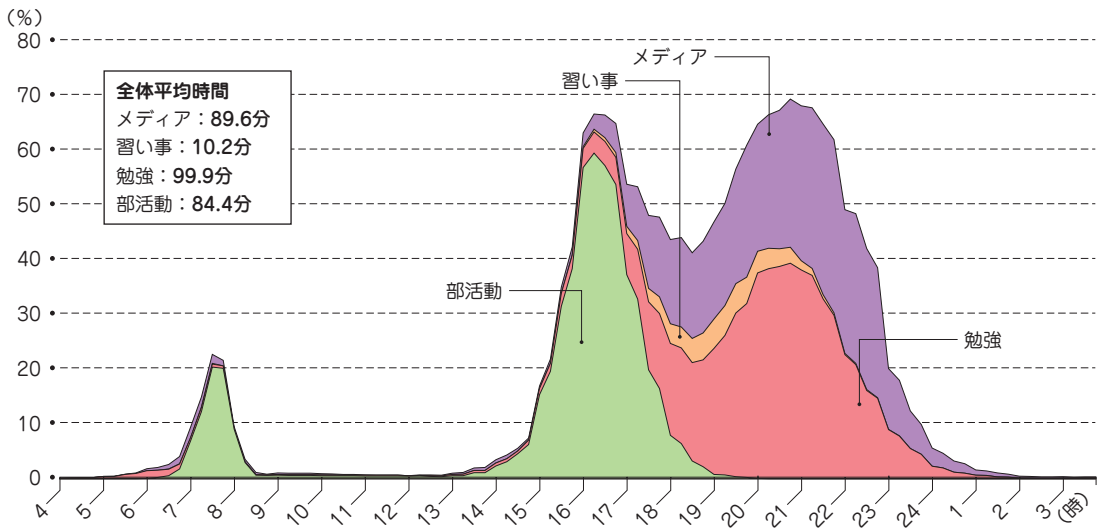
③—中学生：部活動と生活時間

16時台に中1・2生の半数が部活動

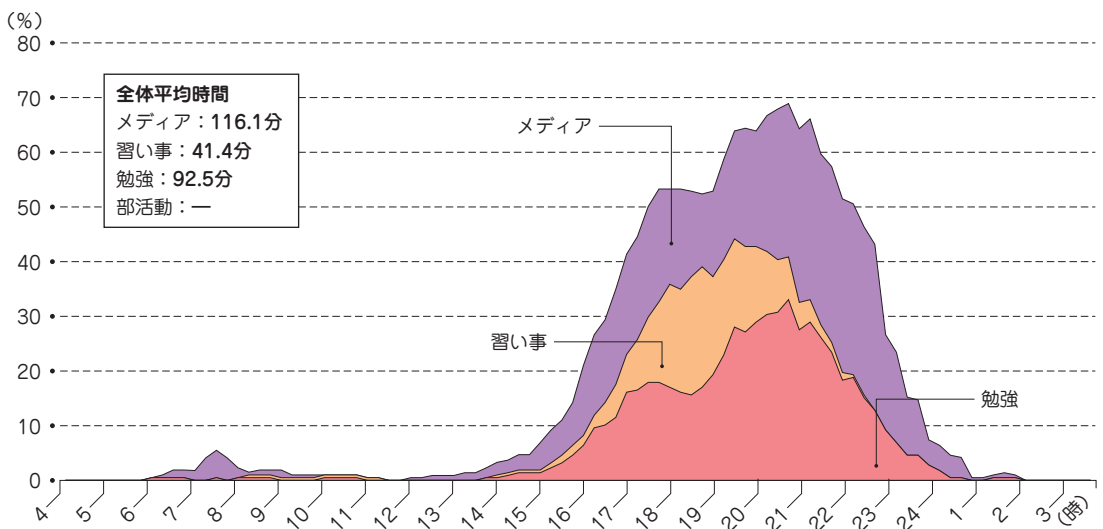
部活動に入っている場合、朝7時～8時に1割～2割の子どもが部活動をしている。また、18時以前の行動は部活動が大部分を占める。しかし部活動に入っていない場合は、17時台にそれぞれ1割～2割の子どもが勉強、習い事、メディアに時間を費やしている。

図3-3 部活動・勉強・習い事・メディアの時刻別行為者率(中1・2生・部活動の有無別)

①部活動あり



②部活動なし



注 「あなたは部活動に入っていますか」という設問に対し、「入っている」と回答した中1・2生を「部活動あり」(中1・2生全体の90.8%)とし、「入っていない」と回答した中1・2生を「部活動なし」(中1・2生全体の9.0%)とした。

3. 小・中・高校生の特徴的な生活時間

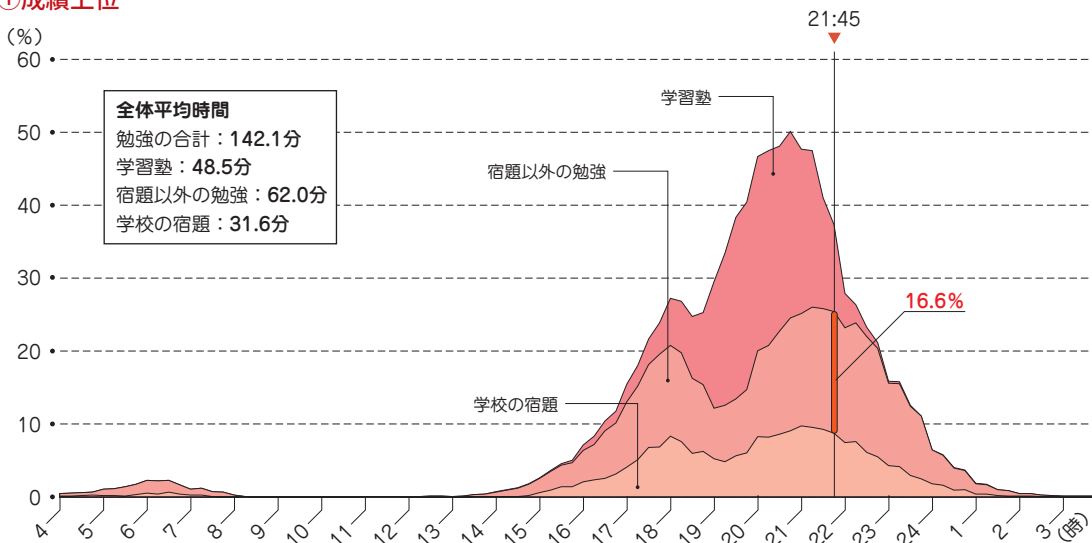
④ 中学生：成績と勉強時間

成績のよい中学生のほうが夕食前に宿題以外の勉強をしている

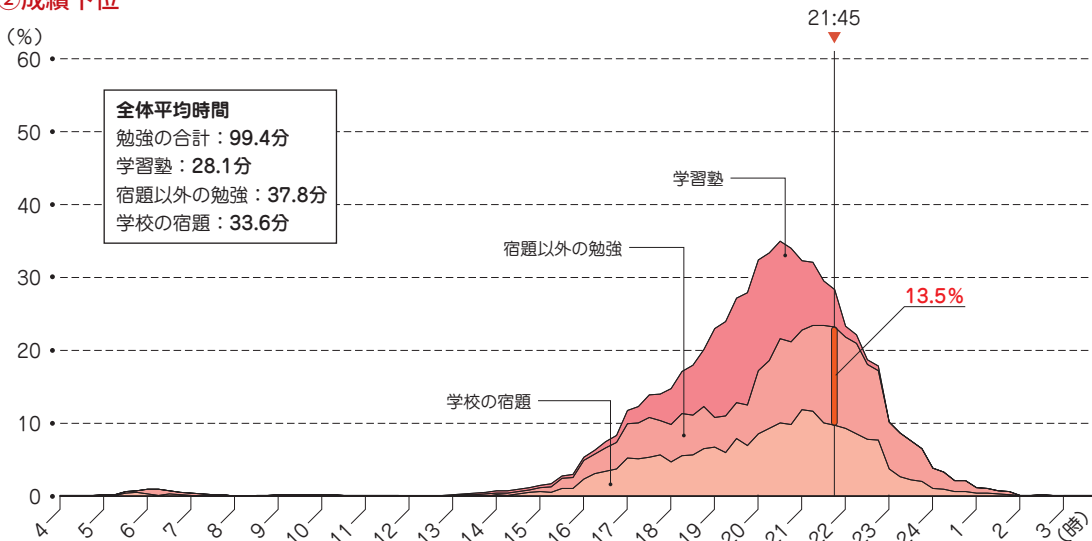
宿題以外の勉強に注目すると、成績にかかわらずピークの時間帯は21時45分である。しかし、成績が上位の中学生には行為者率のピークが2回あり、17時15分～18時30分に宿題以外の勉強をしている比率が10%を超える。早朝4時～7時30分に家で勉強している比率も成績上位のほうがわずかに高い。

図3-4 勉強の時刻別行為者率(中学生・成績別)

① 成績上位



② 成績下位



注1 「あなたの今の成績は、クラスの中でだいたいどのくらいですか」という設問に対し、「上のほう」「やや上のほう」と回答した中学生を「成績上位」(中学生全体の41.6%)とし、「やや下のほう」「下のほう」と回答した中学生を「成績下位」(中学生全体の26.0%)とした。「真ん中くらい」と回答した中学生は分析から除いた。

注2 宿題以外の勉強について、もっとも行為者率が高い時刻の行為者率を示した。

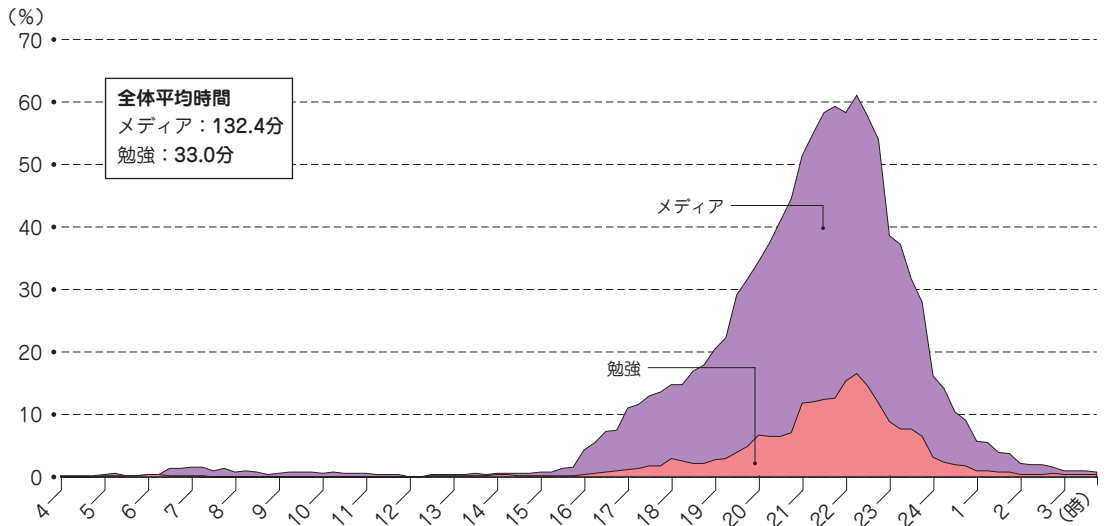
⑤ 高校生：希望の進学先と生活時間

「四年制大学以上」を希望する高校生は勉強時間が長い

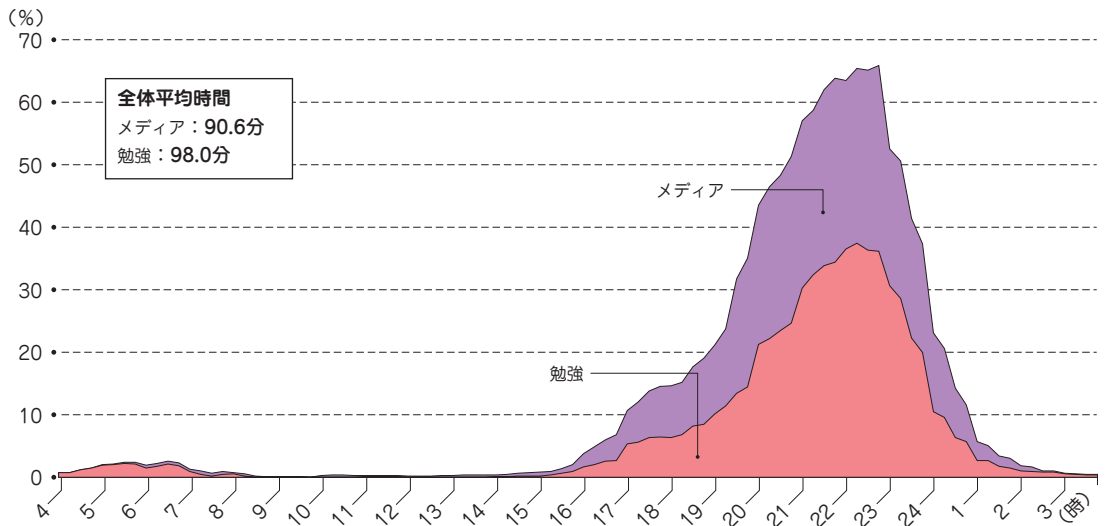
22時の行動をみると、「短大まで」を希望する高校生の15.4%は勉強しているが、メディアは4割を超えている。一方、「四年制大学以上」を希望する高校生は、勉強が36.5%、メディアが27.0%である。平均時間では、「四年制大学以上」を希望する高校生は、勉強（98.0分）とメディア（90.6分）の時間がほぼ同じなのに対して、「短大まで」を希望する高校生はメディア（132.4分）が勉強（33.0分）よりほぼ100分長いのが特徴である。

図3-5 勉強・メディアの時刻別行為者率(高校生・希望進学先別)

①短大まで



②四年制大学以上



注 「あなたは将来、どの学校まで進みたいですか」という設問に対し、「高校まで」「専門学校まで」「短期大学まで」と回答した高校生を「短大まで」（高校生全体の27.8%）とし、「四年制大学まで」「大学院まで」と回答した高校生を「四年制大学以上」（高校生全体の59.7%）とした。「わからない」と回答した高校生は分析から除いた。

放課後の生活時間調査

調査企画・分析メンバー

- 明石 要一 (千葉大学教授)
- 都筑 学 (中央大学教授)
- 佐藤 香 (東京大学社会科学研究所准教授)
- 西島 央 (首都大学東京准教授)
- 木村 治生 (Benesse教育研究開発センター教育調査課長)
- 邵 勤風 (Benesse教育研究開発センター研究員)
- 橋本 尚美 (Benesse教育研究開発センター研究員)
- 岡部 悟志 (Benesse教育研究開発センター研究員)
- 野澤亜伊子 (Benesse教育研究開発センター研究員)

※所属・肩書きは、刊行時のものです。

『放課後の生活時間調査報告書』は2009年10月刊行です。

本調査の詳細な分析をまとめた報告書を2009年10月に刊行します(152頁、頒価1,000円)。

また、本調査のデータはすべてWEBサイトでご覧いただくことができます。

報告書をご希望の方は、Benesse教育研究開発センターのWEBサイトの「調査・研究データ → 報告書の申し込み」より、もしくはお電話で直接お申し込みください。なお、この報告書は、書店ではお求めになれません。

Benesse教育研究開発センターで実施している
各種調査結果やWEB限定のデータは、

<http://benesse.jp/berd/> または で検索できます。

「放課後の生活時間調査」ダイジェスト版

発行日:2009年9月30日 発行人:新井 健一 編集人:原 茂

発行所:(株)ベネッセコーポレーション Benesse教育研究開発センター